

# 平成31（2019）年度 猪名川町立中谷中学校

## 学力向上プラン

平成31（2019）年度の本校の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、本校における全ての教育活動を通じて、全教職員が一丸となって全校生徒の学力向上に取り組みます。

### 1 「学力」に係る本校の課題

※平成30年度の全国学力・学習状況調査及び平成30年度の町学習到達度調査の結果を踏まえて

#### 【全国学力調査の結果3年】

##### ○国語

おおむね良好である

##### 《改善方策等》

- ・「構成を考えて適切な文を書く」「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」に関しては、全国的に課題である。（全体との比較の中では本校は高い）→書く力の向上のため、授業内で文章を書く場面を多く設定する。

##### ○数学

おおむね良好である

##### 《改善方策等》

- ・「図形」や「資料の活用」に関しては、全国的に課題である。（全体との比較の中では本校は高い）→知識・技能を定着させるための反復練習を徹底する。活用問題では「学び合い」学習に工夫を取り入れる。
- ・「1次関数」において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。（全体との比較の中では本校は高い）  
→授業において、数学を用いて考えたことを基に問題解決の方法を改善する場面をより多く設定していく。

##### ○理科

おおむね良好である

##### 《改善方策等》

- ・科学的思考・表現においては全国との比較の中で本校は高い傾向がある。
- ・習得した知識・技能を活用して、実験・観察の結果を分析し、自分や他者の考えを検討して、実験・観察を改善することができている。一方で、条件を制御して実験を計画することに課題がある。
- ・科学的な知識や概念を身の回りの事象に活用することに課題がある。
- ・質量パーセント濃度における水溶液の溶質の質量と水の質量をも詰めることに課題がある。（全国的にも低い）

### 【町学習到達度調査の結果2年】

#### ○国語

おおむね良好である。「書くこと」や「関心・意欲・態度」に関しては、全国的に課題である。(全国との比較の中では本校は高い)

#### ○数学

おおむね良好である。「資料の散らばりと代表値」に関しては、全国的に課題である。(全国との比較の中では本校は高い)

#### ○英語

おおむね良好である。「書くこと」に関しては、全国的に課題である。(全国との比較の中では本校は高い)

- ・家庭での自主学習の定着
- ・会話力、表現力、語彙力の育成
- ・聞いて、理解し、行動する力
- ・学習に集中できる学習環境の更なる改善

## 2 本校の「学力向上プラン」(学力向上の具体的な方策)

### (1) 知識・技能などの基礎・基本の確実な定着に向けての取組

- ・テスト前、懇談期間中、長期休業中における学習会の実施
- ・朝読書の継続
- ・学校図書館の活用推進と図書貸出冊数の促進による読書活動の推進
- ・テスト前1週間のモジュール学習の継続
- ・「サタデースクール『土曜すくすく』」(土曜における自主学習)の継続
- ・月曜すくすく(月曜日の放課後における自主学習)の継続
- ・昼休み中の学習ルームの使用(日々の学習の補充・宿題・テスト対策学習など)
- ・授業における小テストの継続
- ・宿題やノートの点検(随時)
- ・授業や授業外での個別指導の推進(個別ノート指導など)
- ・漢字練習の課題設定
- ・「どの子もわかる」「興味関心がわく」「学習意欲が継続する」授業の展開
- ・ICTを有効活用した授業づくりや工夫
- ・「～ができる」「～がわかる」などの本時の目標設定と各自の振り返り
- ・「読む」「書く」「計算」などの反復練習の重視と習得したものを使う機会の継続(帯活動の推進)
- ・「定期テスト」や「実力テスト」の特性を理解した効果的なテストづくりと3年間を見通した適切なテスト機会の設定
- ・振り返り活動の徹底

## (2) 「言語活動」の充実に向けての取組

- ・「総合的な学習の時間」におけるコミュニケーションをより充実させるための「ソーシャルスキルトレーニング」
- ・語句（ことわざ・四字熟語・慣用句）に関する学習の継続
- ・英語において、単なる文の暗記ではない、自分の台詞（その人物）としての表現や場面に適した表現力の育成
- ・英語の授業における英語使用の失敗の奨励と「伝える」ことを最優先にした活動の重視

### 【行事面】

- ・「総合芸術」としての演劇活動を重視し、「演じる」「なりきる」力を身につけると同時に、その場面に適した環境をつくり上げる。

## (3) 思考力・判断力・表現力、活用する力の育成に向けての取組

- ・各教科における小グループでの学び合い（意見交流）の機会の設定  
ALの形式的な手法にとらわれず、授業の本質にせまる授業改善
- ・各授業や行事における調べ学習の充実
- ・授業中や行事、学校生活の様々な場面で発表する場の設定
- ・既習の学習内容を活用して答えを導く問題演習の実施
- ・すぐに答えが出ないもの、正解が複数あるものに対する思考と、協働的な活動

### 【行事面】

- ・文化祭における舞台発表の場を絶好の機会として、「魅せる」意義や価値の大きさを実感させる。

## 3 「家庭学習」の充実に向けての家庭との連携

- ・ワーク等家庭学習課題について、適切な量の確保と質の向上
- ・定期テストの「学習計画・実施記録」による指導の徹底
- ・学校通信・学級通信・ホームページによる、家庭学習充実のための情報提供
- ・「いなぼうチャレンジ オンライン学習」の奨励と有効活用

## 4 その他

- ・「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業づくりのための研修
  - ・授業のユニバーサルデザイン化の継続
  - ・新聞を積極的に活用した授業づくりや学習活動（NIE）の推進
  - ・スキルトレーニングの終礼時実施
    - ア) ビジョントレーニング
    - イ) 集中力トレーニング
    - ウ) 聞く聴くトレーニング
  - ・社会適応技能を身につけるための「ソーシャルスキルトレーニング」による安定した学校生活の維持
  - ・定期テスト結果に基づく面談活動と学習指導の継続
- 【幼小中連携推進】**
- ・中谷中学校ブロックにおいて、幼小中の11年間を見通して、「学力観」を共通理解し、「まなび」「からだ」「こころ」の確かな育成を図り、「生きる力」を身につけさせる。
  - ・異校種間の相互の授業参観を積極的に行い、いろいろな場面で教師間、または生徒・児童・園児との交流を図る機会をつくる。

# 平成 31 年度 中谷中学校学力向上プラン(一人ひとりを大切にする教育)

めあて 全教職員が中谷生の「思考力・判断力・表現力」を向上させよう！

授業づくり

素地づくり

ALの視点を取り入れた  
授業改善

- ・学び合いの機会設定
- ・各教科帯活動の充実  
(授業への集中と技能の習得)
- ・本質に迫る授業  
(熱中する・～がわかる・～ができる授業)
- ・振り返り活動の充実
- ・指導と評価の一体化  
(テスト問題の工夫等)

思考力  
判断力  
表現力  
UP

- ・教室環境整備(UD化)  
(連絡黒板・掲示物等)
- ・SST(終学活)
- ・書く・表現活動(行事等)
- ・家庭学習課題の  
適正量の確保と質の向上
- ・中谷の良き伝統の継承  
(生徒会活動・礼節・清掃活動等)

みんなで中谷生を育てよう！

月  
日  
( )

・中谷型学習指導の重点(スタンダード)